

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立野田中学校
校長 田中 一弘

中学校区におけるめざす子ども像
自ら学びあきらめずに問題解決する子

令和8年度 重点目標
「のだおんせん」
の:子どものうりよくを伸ばし だ:だれひとり取り残さない お:お互いを認め合い ん:みんなで創りあげる せ:せいとファーストの ん:じん権感覚あふれる学校

<p>確かな学びの現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体として、基礎的学習能力(授業態度・学習意欲、課題の提出等)や基礎基本の学力を身につけている生徒は多い。一方、学習意欲に課題のある生徒や支援や配慮を要する生徒に対する適切・効果的な支援が課題である。 ・野田中スタンダードを効果的な方法に見直し、授業力向上に向けた改善を促し、主体的・協動的な学びをめざしながら、生徒理解に努める姿勢を育む。 ・発展的な学びや学力の定着に課題のある生徒に対する個別最適な学びを、効果的な学習支援に結び付けることに課題がある。ICTの効果的な活用や家庭学習への指導助言などを通じて、充実した学びを進める。 ・現行のグランドデザインを基にした9年間を見越した取組を推進し、新しい学校のあり方に基づく「野田学校群」に向けての研究を進める。 	<p>豊かな心・健やかな体の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業において、道徳的価値観を高め、生きることについての学びを深める必要がある。 ・いじめ(人権)については、絶対にいけないと思っている生徒の割合が全国平均よりも高い。一方で、他者への尊重に欠ける言動もみられる。教育活動全体を通じた人権教育を深め、人権感覚や人権意識の向上につとめる。また、生徒会活動などを通して、コミュニケーションスキルの向上をめざした生徒の育成に努めたい。 ・全学年とも運動好きな生徒が多く意欲的に取り組んでいる。保健体育の授業では、体力向上に効果的なトレーニングを行い、3学期に行う持久走では持久力の向上とめがずに頑張り続ける力をつけたいと考えている。
--	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	知識・技能	基礎基本の確実な定着 自学自習力の育成	★学力の定着を図るため、定期テストや単元テスト等をきめ細かにを行い、結果分析をとおして基礎学力のより一層の定着を図る。	度数分布 基礎基本の正答率	テスト結果等学習 成績、アンケート 等	前期 年度末			
			・家庭学習の定着に向けた指導、工夫及び啓発を進める。(課題の在り方見直しや復習の定着を図る)	課題の提出率 アンケート回答の肯定率 (80%)	課題提出状況 等	前期 年度末			
	授業改善	わかりやすく楽しい授業の創造 ●「学びのコンパス」を軸とした (教科・単元等に応じて) 個に応じた指導方法の工夫と改善	★教育活動全体を通じて、カリキュラム・マネジメントを活用した「思考力・判断力・表現力」の育成や教職員の取り組みを共有する。 ●主体的な研修を通して「学びのコンパス」の考え方を軸に、生徒が主体的に学びに向かう授業の在り方などについて検討を重ねる。 ●少人数指導について、実施単元、方法及び教材について工夫改善する。また、成果を定期的に考察し、指導へと活かす。	すべての教員が(公開授業・ 参観)を実施する。アンケート の肯定率(80%)	テスト結果 アンケート等	前期 年度末			
		ICTを活用した個別最適な学びの 実現	・ICTの効果的な活用について研修を通じて情報共有し、適切かつ効果的に活用する。	アンケートの回答(80%)	テスト結果 アンケート等	前期 年度末			
豊かな心・健やかな体	生活習慣の改善と確立	基本的な生活習慣の確立 ●課題のある生徒への支援の推進 基本的な生活習慣を整えとともに、体力の向上を図る。	●あいさつの励行、授業開始時間の遵守、清掃の徹底を目標に取り組む(野田中ABC作戦の実行)。 ・生徒理解を進め、原因を深く探る。	実施実績	アンケート実態 把握調査数値 等	前期 年度末			
			・生徒理解にもとづききめ細かな働きかけを行う。 ・保護者、SC、関係諸機関との連携を進める。	実施実績	生徒指導委員 会総括等	前期 年度末			
			・早寝早起き、朝ご飯を合言葉に、規則正しい生活への自覚を促す。 ・学習規律を高め、運動量の増加、効果的な良い授業の充実にもむけて工夫する。	遅刻者数の減少 体力テストの結果	アンケート等	前期 年度末			
心の教育	自尊感情を高め 思いやりの心を育てる	・学校教育活動全体を通じて行う道徳教育を深め、充実させる。 ・いじめは絶対ダメ!を言動に移せるよう、教育活動全体を通じて人権教育を組織的にを行い、生徒のみならず教職員を含めた人権感覚及び人権意識の向上に努める。	アンケート回答(80%) 実施状況	アンケート等	前期 年度末				
		★新しい学校のあり方を踏まえ、小中職員が連携し、めざす子ども像の実現に向け、指導方法の工夫改善を進め、合同の研修を実施する。	実施実績	実施状況 アンケート等	前期 年度末				
連携	開かれた学校	★小中連携 地域との連携	★小中教員が連携し、めざす子ども像の実現に向けて合同研修を実施し、計画に沿って実践する。	実施実績 アンケート回答(70%)	実施状況	前期 年度末			
			・学校教育活動について、意見聴取の場を設ける。 ・ホームページ等で学校・地域情報を発信する。また、積極的に学校の教育活動見学の機会を設ける。	アンケート回答(90%)	アンケート	前期 年度末			

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------